



【前編】 Wordpress カスタマイズ設定

■ 著作権について

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用下さい。
このレポートの著作権は株式会社グランツフォースに属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

■ 目次

■ 著作権について.....	1
■ 目次	2
■ はじめに	4
■ テンプレートを変える	5
■ 推奨の無料テンプレート.....	6
■ 外部サイトでテンプレートをダウンロードして設定する	7
■ WordPress 内から選べるテンプレートを使う場合	19
■ テーマ選定（テンプレート選定）の時期について	22
■ コメント・トラックバックの受付設定をする	23
■ PING 送信先を設定する	25
■ パーマリンクの設定.....	26
■ 一般設定	29
■ プラグインを有効化できない！！と慌てる前に・・・基本知識	30
■ 固定ページの URL 末尾を html にする.html on PAGES.....	31

- お問い合わせフォーム Contact Form 7..... 33
- 記事更新を Google にいち早く知らせる PubSubHubbub 37
- 人気記事をサイドバーに表示 WordPress Popular Posts..... 38
- 記事ごとのアクセスがわかる WP-PostViews 43
- 日本語を正しく扱う WP Multibyte Patch..... 45
- RSS に署名やリンクを埋め込める beta-rss_footer 46
- リンク切れをチェックする Broken Link Checker 49
- 設定したサイズで画像アップロードができる Imsanity 52

■ はじめに

ここでは Wordpress インストール後に行っていくプラグインインストールの説明をします。

基本的な操作さえ理解していれば、
最低限 WordPress を運用していくことができます。

ただ、WordPress には運用をより快適にするための機能（プラグイン）を自由に入れることができたり、デザインを変えたりなどカスタマイズ機能も充実しているため、
せっかく WordPress を運用するならこれらも設定しておいた方が良いでしょう。

今回はアフィリエイトサイトを運営していくために必要な機能を
こちらでお伝えしていきます。

設定に多少の時間はかかりますが、1度やってしまえば OK ですので、
設定をしていきましょう。

■ テンプレートを変える

WordPress をインストールしたデフォルトの状態ですと、
あまり使えないテンプレートが搭載されています 汗

そのため、アフィリエイト用に適したテンプレートへの変更が必要です。

どんなテンプレートが良いか、選び方のコツなども後述していきますね。

また、中には有料のテンプレートの方が稼げるだろう
という考えだったり、有料テンプレートの方が優秀なはず！
と考え、有料テンプレートにお金をかけて利用する人もいますが、

そこにはお金をかけなくても良いです。

ここでは、無料のテンプレートでも十分という教えで、
無料テンプレートの推奨をご紹介します。

特に有料にこだわりのない場合には無料テンプレで大丈夫ですので
以下の推奨をご参考にしてください。

(有料テンプレートをすでに買ってしまっていて、それをせっかくなので活用
したい。 という方は、有料のものを使ってもらって構わないです。ただし
不具合が起こった際のサポートは私ではなく、有料テンプレートの販売者様の方
にお願い致します。)

■ 推奨の無料テンプレート

テンプレートといっても膨大な数があり、
これを選ぶのに時間がかかってしまったり、中には、あまりよろしくない
テンプレートを選ぶ方もいらっしゃいます。
そのため、推奨のテンプレートをご紹介させていただくことにしました。

自分で選びきれない、よっぽどなこだわりがない限りは
以下のテンプレートのどれかで設定してください。

- ・ STINGER (2017年4月時点は STINGER 8)

<http://wp-fun.com/dl/>

扱い方参照：<http://wp-fun.com/howto/>

- ・ Simplicity (2017年4月時点は Simplicity2)

<https://wp-simplicity.com/>

扱い方参照：<http://wp-simplicity.com/initialization/>

多くのブロガーさんが利用しているテンプレートでもあり
人気もあります。また使いやすいテンプレートとなっております。

*私は全部のテンプレートを使ったことがあります。

ほとんどのテンプレートは感覚で使えますが、
配布サイトに行くと、使い方が載っていますので参照してみてください。

■ 外部サイトでテンプレートをダウンロードして設定する

今回推奨しているテンプレートは、WordPress 内から選ぶテンプレートではなく、個人の方がテンプレートを作り自身のサイト内で配布しているものになります。

そのため、外部サイトにてテンプレートをダウンロードしてくる方法となりますので、そのやり方を解説します。

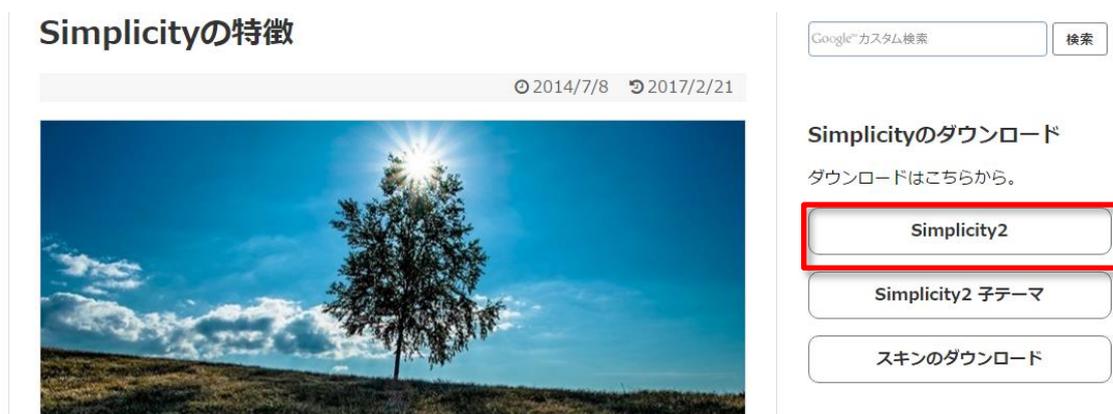
Simplicity2 での例でご紹介します。

まずサイトへ移動します。

<https://wp-simplicity.com/>

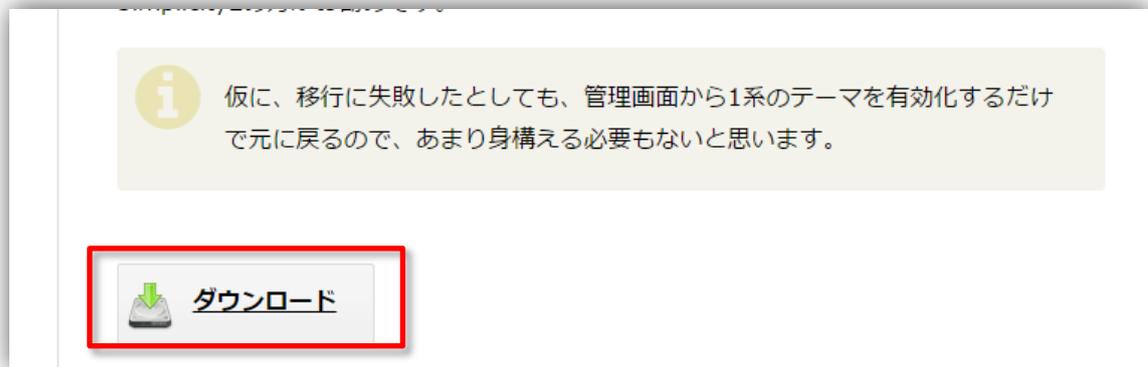
ダウンロードする箇所を探してください。

今回はこちらをクリックします。



The screenshot shows a webpage titled "Simplicityの特徴" (Features of Simplicity). Below the title is a date range "© 2014/7/8 ~ 2017/2/21" and a large image of a tree on a hill under a bright sun. To the right of the image is a search bar with "Google" カスタム検索 and a "検索" button. Below the search bar is the heading "Simplicityのダウンロード" (Download Simplicity) and the text "ダウンロードはこちらから。" (Download from here). Three buttons are listed: "Simplicity2" (highlighted with a red box), "Simplicity2 子テーマ" (Simplicity2 Child Theme), and "スキンのダウンロード" (Download Skins).

ダウンロードをクリックします。



ここで、PC 内に ZIP ファイルがダウンロードされます。

ZIP ファイルは解凍したりダブルクリックしたり等、開かないようにしてください。

ワードプレスの管理画面に行き、
外観 → テーマをクリックします。



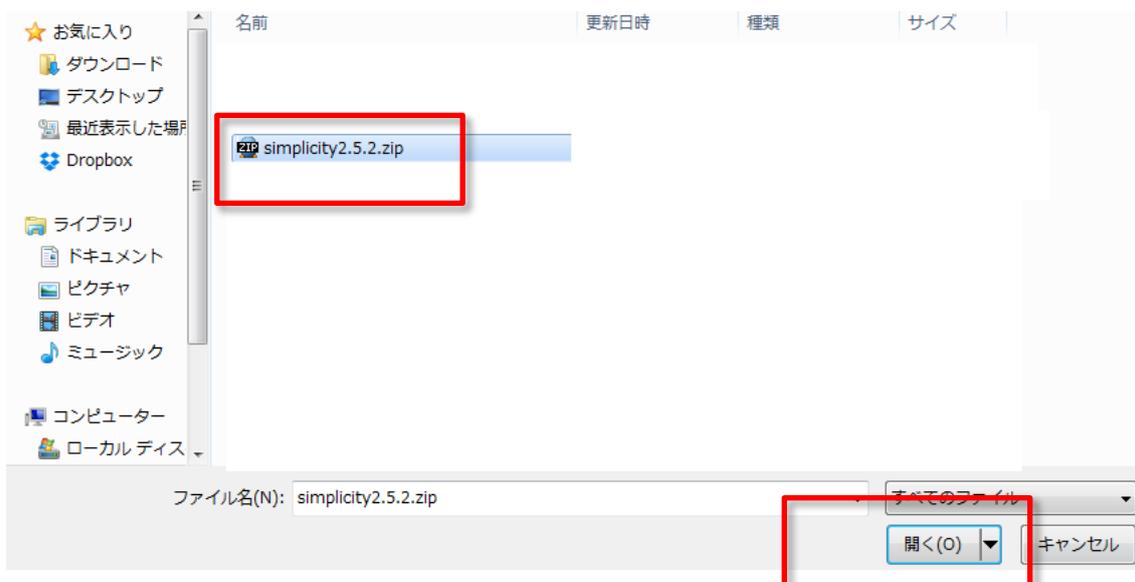
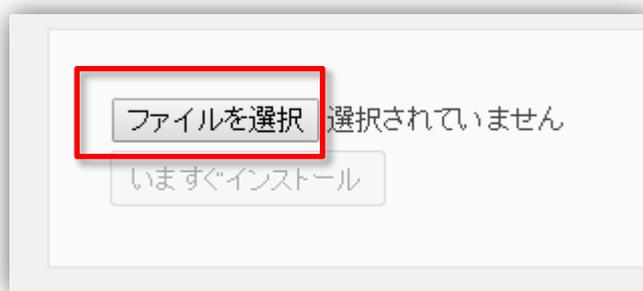
新規追加をクリックします。



テーマのアップロードをクリックします。



ファイルを選択を押して、先ほどダウンロードした ZIP ファイルを選択し、開くボタンを押します。



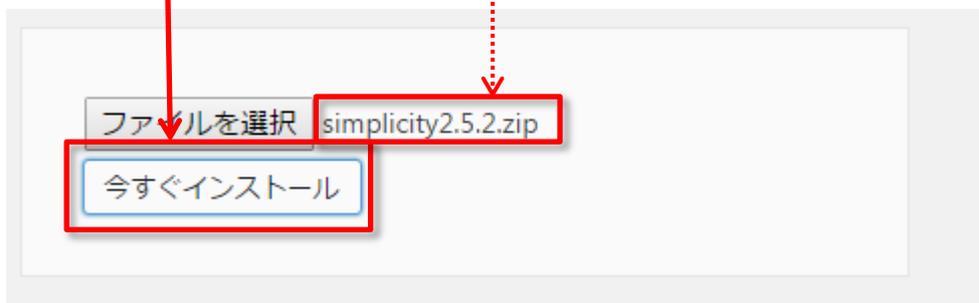
*ほとんどの PC では、ダウンロードというフォルダ内にファイルが保存されていると思います。

ダウンロードしたばかりでしたら、ダウンロードフォルダの一番上に見つかると思います。

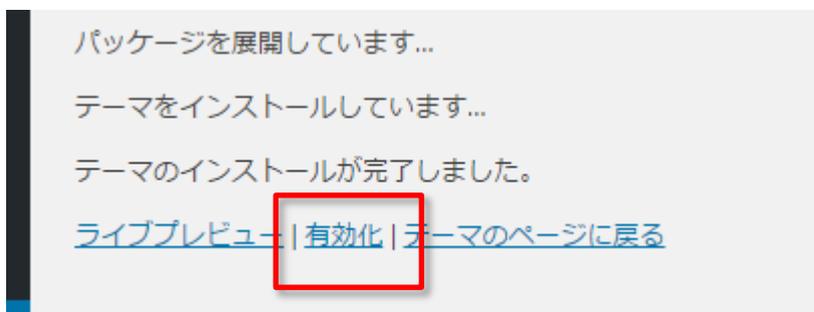
お使いの PC や解凍ソフトによって、ZIP のアイコンマークが異なりますがこの画像とあなたの画像が違ってても気にしないでください。

Simplicity2……………zip となっていれば大丈夫です。

ファイルを選択したら、ここに表示が出ます。 これを確認し、「今すぐインストール」をクリックします。



有効化をクリックします。



これでテーマ（テンプレート）の選択が完了しました。

初心者の方は、上記までの手順で終わらせていただいても大丈夫です。

上記までの方法は通称、「親テーマ」と呼ばれるものをインストールする方法でした。

以下からは「子テーマ」をインストールする場合の手順を説明していきます。

子テーマをインストールする必要性についてですが、
テーマファイルを編集すると、テーマのアップデートがあった際に
テーマの更新ボタンを押してしまうと更新がかかり、
せっかくカスタマイズしたものが全て消えてしまう。というデメリットがあります。

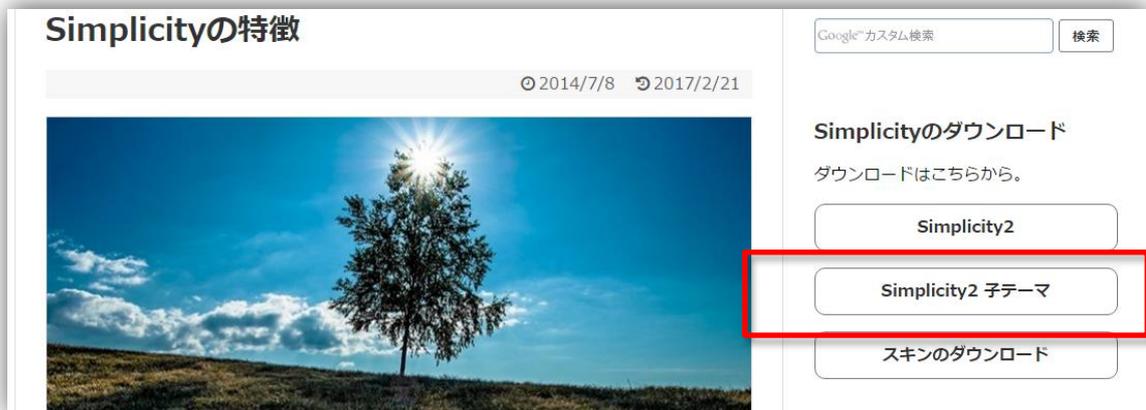
ですが、子テーマファイルを用意し、カスタマイズを子テーマで行うことにより、
アップデートがあって更新をしても事前に編集していた内容はそのまま引き継がれるというメリットがあります。

こういったこともあり、慣れている方や経験者さんは子テーマを使われる方も多いですが、
テンプレートによっては「子テーマ」を配布していないものもあり、
その場合には子テーマの用意は難しくなってしまいます。

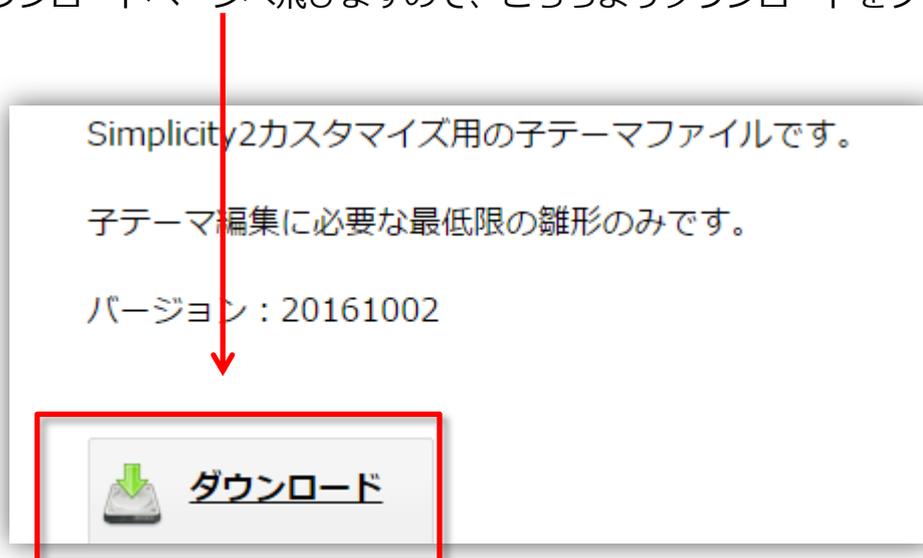
私個人的には、子テーマがなければいまままで使って良いと思っていますし、
子テーマがあっても初心者さんにはややこしい現象でしかないので、親テーマのインストールだけでも良いと思っています。

ですので、以下からご紹介する手順は子テーマのインストール方法について
ということで、一応解説しておきますが、特に超初心者、入門者の方はこれ以降の作業は行わなくても大丈夫です。

子テーマのダウンロードはこちらになります。



ダウンロードページへ飛びますので、こちらよりダウンロードをクリック



Zip ファイル形式でダウンロードされます。

このファイルは解凍せずにそのままにしておいてください。

(自分のパソコンのデスクトップ もしくは ダウンロード のフォルダ内に保存されております。)

ワードプレスの管理画面に行き、
外観 → テーマをクリックします。



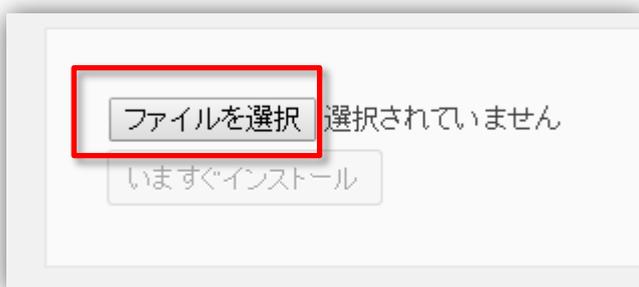
新規追加をクリックします。



テーマのアップロードをクリックします。



ファイルを選択を押して、先ほどダウンロードした ZIP ファイルを選択し、
開くボタンを押します。





*ほとんどの PC では、ダウンロードというフォルダ内にファイルが保存されていると思います。

ダウンロードしたばかりでしたら、ダウンロードフォルダの一番上に見つかると思います。

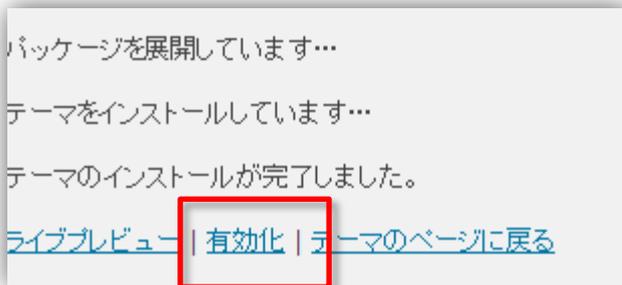
お使いの PC や解凍ソフトによって、ZIP のアイコンマークが違いますがこの画像とあなたの画像が違ってても気にしないでください。

Simplicity2.....zip となっていれば大丈夫です。

選んだら今すぐインストールをクリックします。



インストールできたら有効化をクリックします。



左側に子テーマ、右側に親テーマが入りました。

左側の子テーマのところが「有効」と出ていればOKです。

これでテンプレート設定は完了です。

今回は Simplicity2 での方法を説明しましたが、他のテンプレートでも流れは一緒です。

- 1, サイトからダウンロードしてくる
- 2, 外観 → テーマ → 新規追加 でファイルを選択
- 3, いますぐインストール
- 4, 有効化

この単純な流れになりますので、覚えておきましょう。

子テーマファイルのあるテンプレートでは、

- 1, サイトから親テーマをダウンロードしてくる
- 2, 外観 → テーマ → 新規追加 でファイルを選択
- 3, いますぐインストール
- 4, 有効化
- 5, サイトから子テーマをダウンロードしてくる
- 6, 外観 → テーマ → 新規追加 でファイルを選択
- 7, いますぐインストール
- 8, 有効化（子テーマの方を有効化）

この流れになります。

*子テーマを有効化しても親テーマをインストールしたままにしておいてください。親テーマの削除は、しないようにしてください。

公式サイトで「子テーマ」を配布していないものもありますが、有志（ユーザー）の方のご好意で子テーマが配布されているものもあります。

「テーマ名 (テンプレート名) 子テーマ」 と Google 検索すると子テーマファイルが配布されているサイトが見つかったりすることもありますので、そのようにして探す方法もありますよということでお伝えしておきます。

また、各テーマでのカスタマイズはご自由に行っていただけますが、カスタマイズについては各テンプレートで違うこともあったり、人それぞれやりたい内容が違いますのと、私自身がテンプレートをほぼデフォルトで使っていることが多く、あまりカスタマイズを推奨する人間ではありません。

ということもあり、カスタマイズがしたければ、自由にやっていいですよ。ただし、ご自身の責任の範囲内でやってくださいね。 とお伝えしております。

(カスタマイズについてのサポートは対象外となります。)

「テーマ名 (テンプレート名) カスタマイズ」 と Google 検索するとそういった情報が書かれているサイトも見つかりますので、参考になります。

カスタマイズする前には、必ずテーマファイル (ソースの記述) のバックアップを取っておくことをオススメします。

これまでは Simplicity の例を挙げさせていただきましたが、STINGER 8 のダウンロードの仕方がわかりにくいのでダウンロード方法のみ補足でご紹介させていただきます。

まず、STINGER 8 のダウンロードの方法をご紹介します。

こちらのダウンロードページへアクセスします。

<http://wp-fun.com/dl/>

注意：見る時期によって、サイトの見た目が変わっていることがありますがご容赦ください。



STINGER8は無駄なものを一切排除した骨組みのみのシンプルなテーマです。自身で一からカスタマイズされたい方に向いています。

WordPress	4.3.1以上
PHP	5.3以上

📄 Download

レゴクリスマスストア シティ、フレンズ、ニンジャゴーなど、子どもたちに人気のシリーズが勢ぞろい。

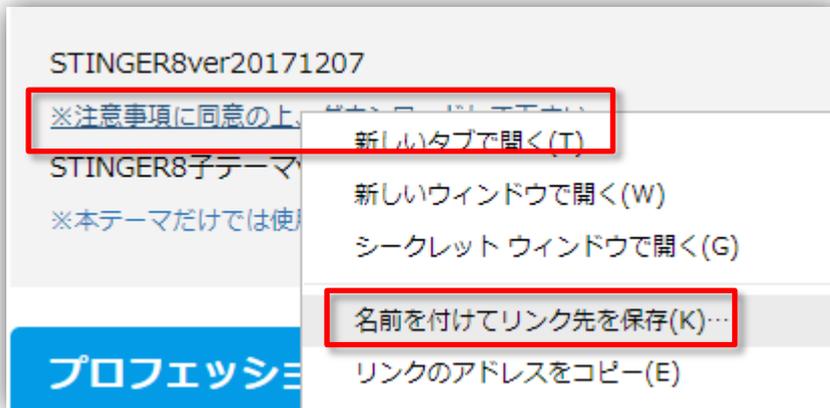
STINGER8ver20171207
※注意事項に同意の上、ダウンロードして下さい。

STINGER8子テーマver20170614
※本テーマだけでは使用できません

ダウンロードするのは、上記2つのファイルになります。
のちに説明しますが、いわゆる「親テーマ」というものと「子テーマ」というものをダウンロードします。

該当のリンクの上で、右クリック→ 名前を付けてリンク先を保存

*ブラウザを GoogleChrome で見ている場合の表示です。 IE で見ている場合には違う表示になります。



「親テーマ」が stinger8.zip

「子テーマ」が stinger8-child.zip

というファイルになります。自分が忘れない場所に保存しておきましょう。
デスクトップなどが一番わかりやすいです。

ファイルをインストールした後は、P14~の流れと同じになります。

■ WordPress 内から選べるテンプレートを使う場合

今回は推奨したテンプレートではなく、
無料のテンプレートで WordPress 内から検索して使うことのできる
テンプレートを適用する方法をご紹介します。

*今回推奨テンプレを使う方は、ここから以下は不要の作業になります。

ここは飛ばして次の項目へ移動してください。

>> [次の項目へ飛ぶ](#) (←こちらをクリック)

左サイドバーの外観 → テーマをクリック



新規追加をクリック



特徴フィルタをクリック



イメージに該当するものがあればチェックを入れ、テーマを検索をクリック
もしくはエンターキーを押して検索



好きなテーマが見つかったら、いまずぐインストールをクリック

(*今回は例としてこれを選んでいるだけですので、全く同じものにする必要はございません。ご自身で好きなテーマを選んでください)



選ぶ際のコツとして、デザインが派手すぎないもの
(文章よりもデザインが目立つタイプのものはNG)
文章の背景が白のものを選ぶようにしてください。

インストールが終わったら、有効化をクリックします。



サイトを確認してみましょう。デザインが変わっていれば OK です。

■ テーマ選定 (テンプレート選定) の時期について

先ほどテンプレート設定についてお伝えしました。

これからは様々なワードプレスでの必須設定やプラグイン設定についてお伝えしていきます。

プラグイン設定などは特に時間がかかりますため、

テーマを変更してしまうと、また同じ作業 (プラグイン設定等) をしなくては
いけないのか? ならば、先にテーマを決めてしまったほうが良い
と考える方もいらっしゃると思います。

しかし、実際には、じっくり決めたいのはテーマ（テンプレート）でプラグイン設定などはマニュアルを見ながら決めたいですね。

その場合ですが、これから以降でお話していく WordPress のカスタマイズや、プラグインを先に設定していただき、全部の作業が終わってから、テーマ（テンプレート）をゆっくり決めていただく。

という流れでもかまいません。

テーマを変更しても、事前に入れてあるプラグイン情報は生きたままになります。

それでは早速カスタマイズへ進みましょう！

■ コメント・トラックバックの受付設定をする

このブログのコメント・トラックバックの受付設定をしていきます。
コメントもトラックバックも最近ではスパム投稿も多く、
また、アフィリエイトブログを運営していると嫌がらせコメントを入れられる場合もあります。

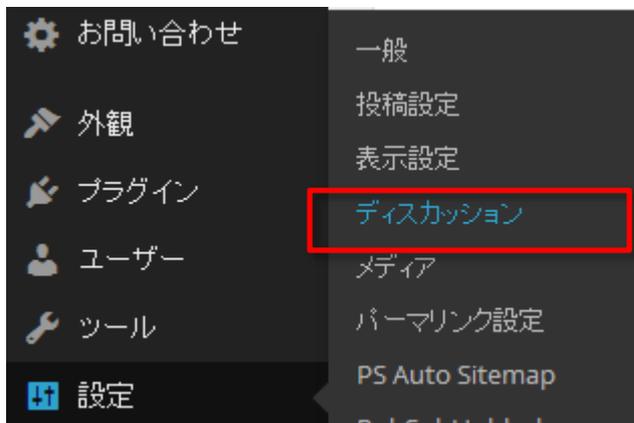
そのため、アフィリエイト関連のブログ運営をしている時は
コメント欄もトラックバック欄も受付不可にして「閉じる」ケースも多いです。

今回も、嫌がらせコメントやスパムコメントを防ぐべく、コメント欄は閉じる設定にしておくことをオススメします。

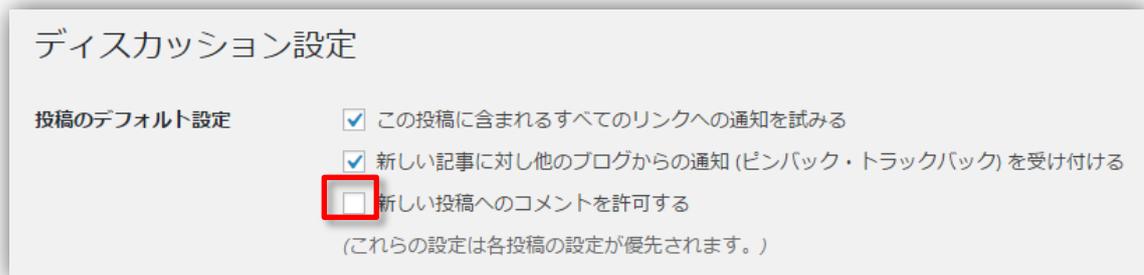
（コメント欄を開放しておきたいという方は、承認制などにしてスパム対策をしておきましょう）

ここではコメント欄を閉じる場合の設定についてお伝えします。

設定→ ディスカッションをクリックします。



投稿のデフォルト設定・・・新しい投稿へのコメントを許可するのチェックを外します。



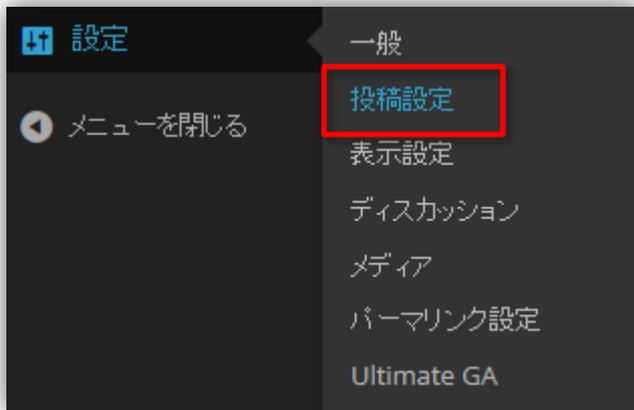
「変更を保存」をクリックします。



これで設定は完了です。

■ PING 送信先を設定する

管理画面の左サイドバーの設定→投稿設定をクリック



更新情報サービスに以下の PING 送信先を入力していきます。

(ご自身で PING 送信先などのリストをメモしている場合には、この通りにしなくても良いです。ご自身のリストに従って入力ください)

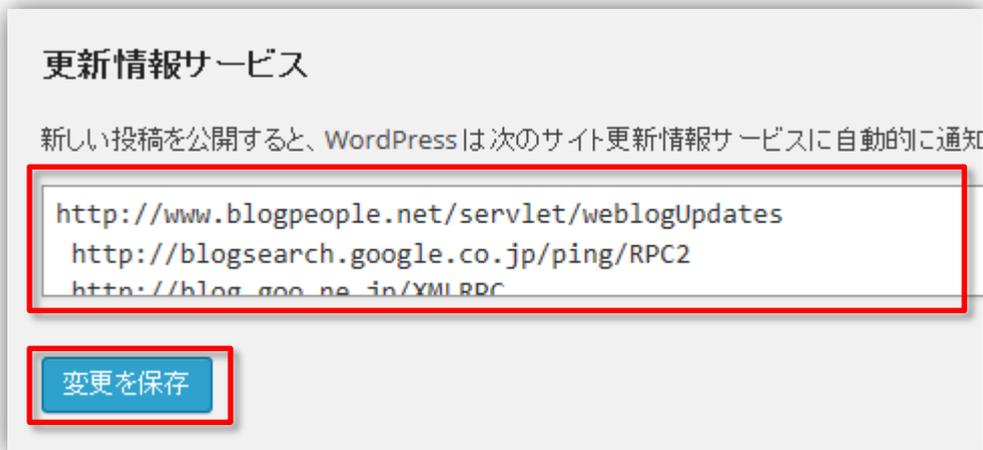
<http://www.blogpeople.net/servlet/weblogUpdates>
<http://blogsearch.google.co.jp/ping/RPC2>
<http://blog.goo.ne.jp/XMLRPC>
<http://ping.blogoon.net/>
<http://ping.ask.jp/xmlrpc.m>
<http://www.bloglines.com/ping>
<http://api.my.yahoo.co.jp/RPC2>
<http://ping.fc2.com/>
<http://ping.gpost.info/xmlrpc>
http://wpdocs.sourceforge.jp/Update_Services

こちら↑の PING 送信先をコピーしてください。

以下の枠に貼り付けをし、「変更を保存」をクリックします。

***貼り付けた後に、1つずつ改行されているかご確認ください。**

まれにすべての URL が 1 行つなぎになって貼り付いてしまうことがあります。



更新情報サービス

新しい投稿を公開すると、WordPressは次のサイト更新情報サービスに自動的に通知

```
http://www.blogpeople.net/servlet/weblogUpdates
http://blogsearch.google.co.jp/ping/RPC2
http://blog.google.jp/XMLRPC
```

変更を保存

■ パーマリンクの設定

パーマリンクとは、ワードプレスのカテゴリや記事の URL のことです。

パーマリンク設定は、記事をたくさん投稿した後で URL を変更するとアクセスが来てもページが表示されないなどのデメリットが大きくなりますので、

記事投稿前の初期設定段階で必ずやっておきたい設定項目になります。

かつ 1 回設定したら後に変更はできない。という認識でいてください。

(例えば、このマニュアルを読む以前から WordPress を使っていて、同じ WordPress に記事を追加して使いたい。というような場合にも、このマニュアルを見てパーマリンクを途中から変更するのはやめましょう。)

パーマリンクは、通常、設定を何もしないデフォルト（初期設定）の状態ですと、記事を投稿した際の URL はこのようになっています。



このように、 ?p=123 のような文字列になっていますね。

この、 ?p= で構成された URL は、動的なページとみなされ、検索エンジンにインデックスされにくいとされています。

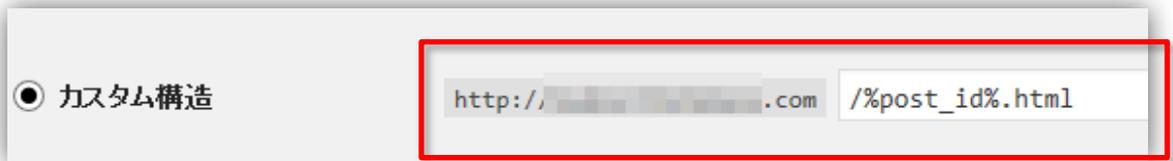
そのため、この URL 文字列表示形式を変えておきます。

パーマリンクは設定パターンがいくつもあり、ネット上でも SEO 的に推奨のパーマリンクはこれだ！ というようなことが解説されている記事もいくつか見かけますが、このマニュアルは超初心者さん、入門者さんでもできるということを軸に置いていますため、ここでは初心者の方にオススメの設定でご紹介させていただきます。

※パーマリンクについて、多少の知識がある方や経験者さんなどは、ご自身の好きな設定で行ってください。

以下からは超初心者さん、入門者さんに推奨の設定をご紹介します。

カスタム構造にチェックを入れ、 /%post_id%.html と入力します。

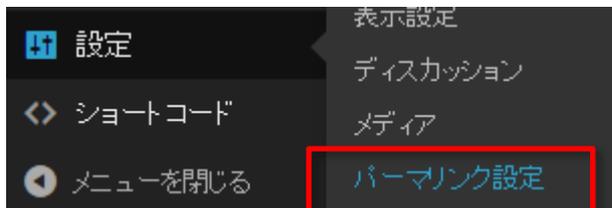


/%post_id%.html
と入力することで

http://〇〇〇〇.com/1102.html

のように、記事投稿順に番号を割り振られた URL が決定されます。

設定 → パーマリンク設定



カスタム構造のところで /%post_id%.html



と入れて、変更を保存ボタンをクリックします。

※/%post_id%.html の後ろに空白スペースを入れて保存をしてしまうと
記事が見れなくなります。後ろにカーソルを当てて、スペースが入っていないことを確認してから保存してください。

※ 今回は http://〇〇〇〇.com/1102.html
のように、数字形式での URL としております。
数字は投稿時に自動で割り振られます。

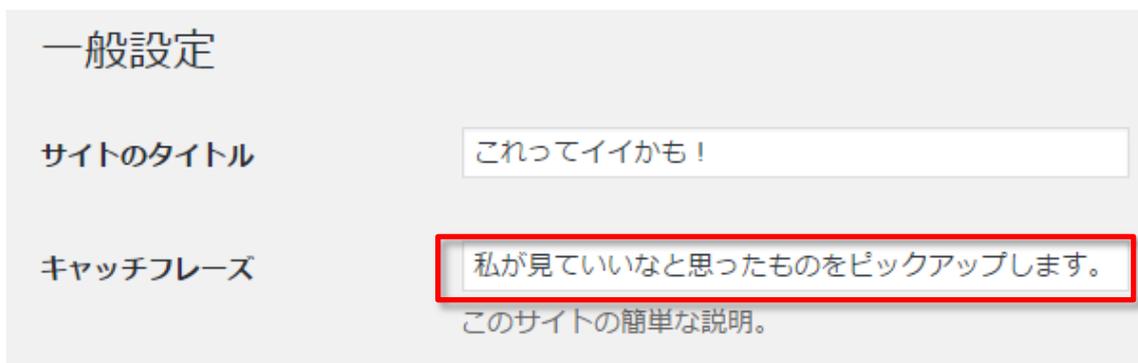
■ 一般設定

設定 → 一般 をクリックします。



ここのキャッチフレーズ を変更します。

初期では Just another WordPress site となっているので、簡易的なサイト説明文を入れましょう。



ここは、「どんな文章にしようか・・・」 と、たいしたこだわることも考えすぎることありません。

初期のままでも特に影響がなく、私はよく、デフォルトのまま運営していましたが、Just another WordPress site だとなんか変なので変えときましょうか。という感じで、公式マニュアルで設定方法を書かないのもアレなので、ここで解説している程度のことです。

ですので、その程度なんだね・・・という認識でいていただければと思います。

難しく考えずに、文章の記述内容はそんなに身構えることもなく、

日本語が通じればいいかな くらいの感じで気楽に考えてくださいね。

■ プラグインを有効化できない！！と慌てる前に・・・

基本知識

ここから以降のページでは、WordPress に入れるプラグインの説明をしていきます。

1つずつプラグインを追加し→有効化 という手順を繰り返し行なっていただきますが、その前に必要知識として覚えておいていただきたいことがありますので、説明いたします。

プラグインを有効化すると、停止という表示が現れます。

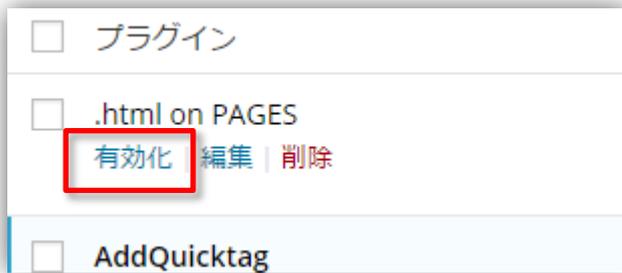
<input type="checkbox"/> プラグイン	説明
<input type="checkbox"/> .html on PAGES 停止 編集	Adds .html to pages. バージョン 1.1 作成者: IntroSite
<input type="checkbox"/> AddQuicktag 停止 編集 設定	HTMLエディターやビジュアルリッ バージョン 2.4.1 作成者: Frank
<input type="checkbox"/> Akismet 設定 停止 編集	Used by millions, Akismet is qu to the left of this description, 2 バージョン 3.0.4 作成者: Auton
<input type="checkbox"/> All In One SEO Pack 停止 編集	Out-of-the-box SEO for your W バージョン 2.2.5 作成者: Micha

停止という文字が現れているということは、すでに有効化できている。

という意味になります。

ですので、有効化できない！！ と慌てる必要はありません。

有効化できていない時にのみ、有効化という文字が現れます。



停止中のものには有効化という文字が現れ、有効化したい場合に有効化という文字をクリックすれば有効化されます。

以上はよくあるお問い合わせに多いので、必要基礎知識として覚えておいてください。 それでは早速プラグインの追加作業に入りましょう。

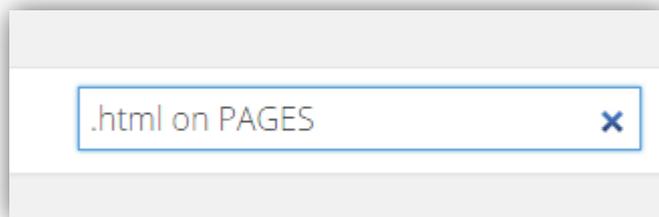
■ 固定ページの URL 末尾を html にする.html on PAGES

ダッシュボード→プラグイン→新規追加



右側のプラグインの検索という欄に、.html on PAGES を入力してください。

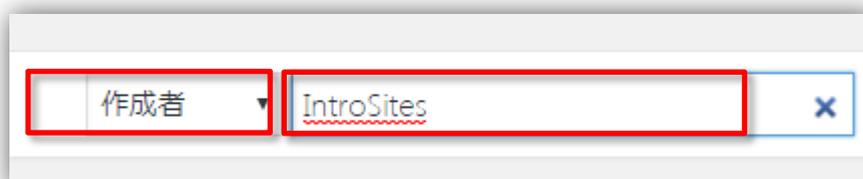




入力したらそのままエンターキーを押して検索します。



↑ こちらになります。検索ですぐに見つからなかったら、検索のところで ▼を押して作成者をクリックし、IntroSites と入力して検索してみてください。この方法でやるとすぐに出てくると思います。



検索で見つかったら 「いますぐインストール」をクリックします。
インストールが完了したら有効化をクリックします。



これは、こういったプラグインになるかというと、
先ほどパーマリンクの設定のところ、URL 表記を

`/%post_id%.html` と入力することで

`http://〇〇〇〇.com/1102.html` という表記にできる
というお話をしました。

これが固定ページの場合のみ、このようにはいかないので、固定ページでも
末尾の URL を html で表示できるようになります。

■ お問い合わせフォーム Contact Form 7

こちらではお問い合わせフォームのプラグイン
Contact Form 7 について解説していきます。

ダッシュボード→プラグイン→新規追加



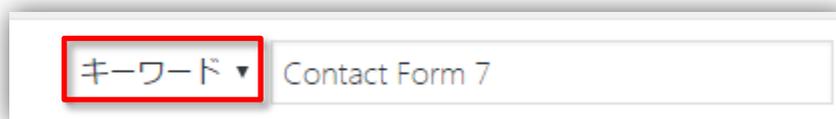
右側のプラグインの検索という欄に、Contact Form 7を入力してください。

*スペースのちょっとした違いで検索に出てこなかったりしますので、

Contact Form 7 ← をコピーして、検索窓に入れてください。



こちらもキーワードに選択されていることをご確認ください。



入力したらそのままエンターキーを押して検索します。

検索で見つかったら 「いますぐインストール」をクリックします。



インストールが完了したら → 有効化

をクリックしてください。

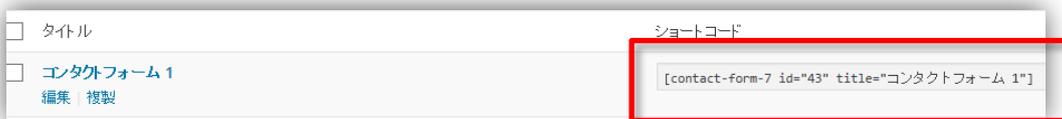
こちらはサイト内にお客様からのお問い合わせフォームを設置できます。

早速お問い合わせページを作成していきます。

お問い合わせ→コンタクトフォームをクリック



このようにコンタクトフォームのコードが出ておりますので
こちらをコピーします。



固定ページ→新規追加をクリック



先ほどコピーしたコンタクトフォームを投稿欄に貼り付けます。



公開ボタンを押します。（プレビュー確認したい場合はプレビュー）



このような形で設置できました。

お問い合わせ

お問い合わせは以下のフォームよりお願いいたします。

お名前 (必須)

メールアドレス (必須)

題名

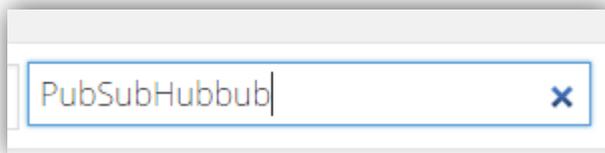
メッセージ本文

■ 記事更新を Google にいち早く知らせる PubSubHubbub

ダッシュボード→プラグイン→新規追加



右側のプラグインの検索という欄に、PubSubHubbub を入力してください。



入力したらそのままエンターキーを押して検索します。



検索で見つかったら 「いますぐインストール」 をクリックします。
インストールが完了したら 「有効化」 をクリックしてください。



PubSubHubbub (パブサブハブバブ) と読みます。読みにくいですね ^^ ;
こちらは、Google 検索エンジンに対して、ほぼリアルタイム (数分以内) に
インデックスできるというものになります。

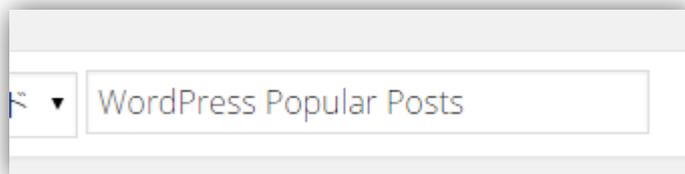
これの何が良いのかというと、自分が作った記事がオリジナルである
ということを Google に主張できるものでもあり、
パクリサイトが先に検索エンジンにインデックスされてしまうのを
防ぐことにもつながります。

■ 人気記事をサイドバーに表示 WordPress Popular Posts

ダッシュボード→プラグイン→新規追加



右側のプラグインの検索という欄に、WordPress Popular Posts を入力してく
ださい。



入力したらそのままエンターキーを押して検索します。



検索で見つかったら 「今すぐインストール」をクリックします。
インストールが完了したら「有効化」をクリックしてください。



あなたも訪問したサイトのサイドバーに、閲覧数順で人気記事が並んでいるのを見たことがあるかもしれませんね。

このプラグインは閲覧回数順に並べてくれることで、ページビューを増やしてくれたり、滞在時間を長くしてくれる役割があります。

外観→ウィジェットをクリックします。



WordPress Popular Posts のウィジェットをサイドバーのお好きなところにドラッグ&ドロップして入れていきます。

最近の投稿の下あたりが良いかと思います。



以下のような表記が出てきますので、こちらを変更していきます。

The image shows the 'WordPress Popular Posts' widget configuration interface. It includes a title field with the text '人気の記事', a 'Show up to' field set to '10 posts', a 'Sort posts by' dropdown menu set to 'Total views', and a 'Time Range' dropdown menu set to 'Last 7 days'. There is also an unchecked checkbox for 'Display only posts published within the selected Time Range'.

Title: サイドバーのタイトルになります。

人気記事ランキング、人気記事一覧、人気の記事、良く読まれている記事
おすすめ記事
などお好きなタイトルをつけましょう。

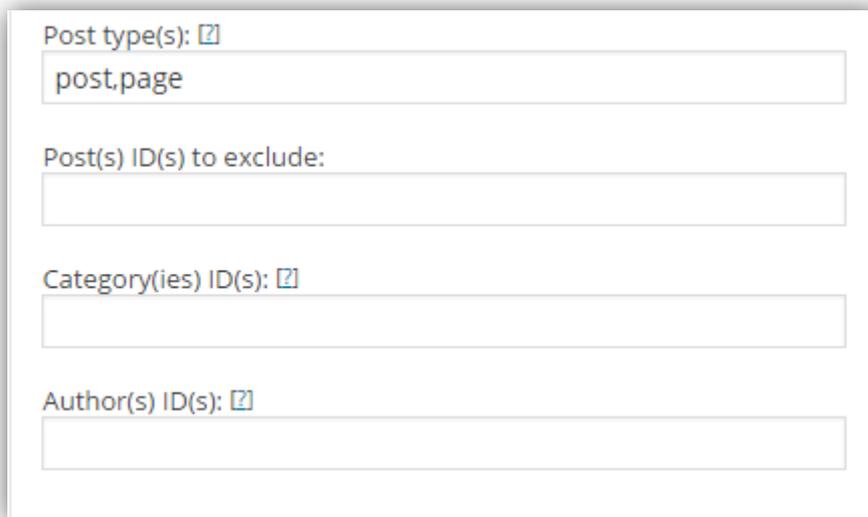
Show up to: 何記事分を表示するか指定します。

10 とすると、10 記事分表示されます。

Sort posts by : Total views が良いでしょう。(ページビュー数順)

Time Range: ランキングの集計期間です。

Last7days とすると1週間での集計、Last30days とすると1か月での集計と
なります。↓の部分は最初のみで良いと思います。



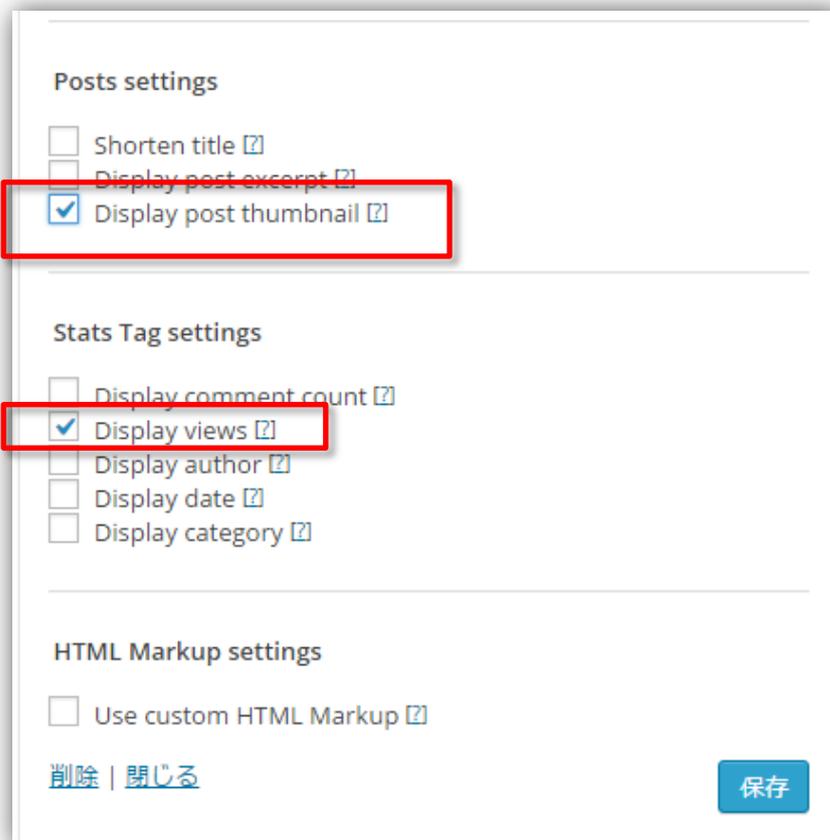
Post type(s): [?](#)
post,page

Post(s) ID(s) to exclude:

Category(ies) ID(s): [?](#)

Author(s) ID(s): [?](#)

ご自身の好みですが、今回の例では、こちらの2つにチェックを入れました。
できましたら、最後に「保存」ボタンを押します。



Posts settings

Shorten title [?](#)
 Display post excerpt [?](#)
 Display post thumbnail [?](#)

Stats Tag settings

Display comment count [?](#)
 Display views [?](#)
 Display author [?](#)
 Display date [?](#)
 Display category [?](#)

HTML Markup settings

Use custom HTML Markup [?](#)

[削除](#) | [閉じる](#) [保存](#)

Display post thumbnail : 記事一覧の横に (サムネイル) 画像を表示します。

Display views: view 数（アクセス数）を表示します。

*アクセス数が少なくて恥ずかしい、アクセス数が多いのでライバルに目をつけられたくない・隠したいという場合には view 数は表示しなくても良いと思います。

今回は、これだけ入っていれば OK だろうという項目をお伝えしましたが、このプラグインのそれぞれの項目について、知りたい場合にはこちらのサイトの説明がわかりやすいので参照してみてください。
<http://wp-navi.net/customize/wordpress-popular-posts/>

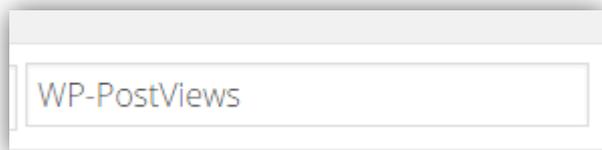
■ 記事ごとのアクセスがわかる WP-PostViews

ダッシュボード→プラグイン→新規追加



右側のプラグインの検索という欄に、WP-PostViews を入力してください。





入力したらそのままエンターキーを押して検索します。



検索で見つかったら 「いますぐインストール」をクリックします。
インストールが完了したら「有効化」をクリックしてください。



WordPress の管理画面にて、記事ごとのアクセスが一目でわかるプラグイン
です。

WordPress の管理画面

投稿→投稿一覧

にて、投稿済の記事の一覧が見れるのですが、日時の横に
Views という欄が出現し、アクセス数がわかるようになります。



注意：1記事も入れていない段階では、何も表示されません。

Views という文字をクリックすると、

アクセスを多い順に並び替えたり、少ない順に並び替えたりなどができます。

この機能があることで、サイドバーの人気記事一覧に表示されるまでではないものの、そこそこ人気のある記事を把握できたり、

まったく需要がない記事を見つけたりすることもできます。

時に、全くアクセスのないものは修正が必要だったり、

Google の評価を修復したり高くするために、極端にアクセスの少ないいわゆるゴミ記事の削除が必要だったりするので、そういった記事を発見するのにも役立ちます。

■ 日本語を正しく扱う WP Multibyte Patch

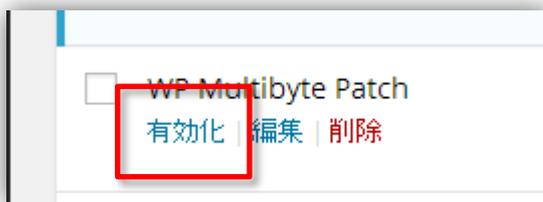
WP Multibyte Patch プラグインは、日本語で WordPress を扱う際に正しい表示ができるようにと文字化け対策が施されているなど、日本語ブロガーのために開発されたプラグインです。

標準で搭載されてはおりますが、手動で有効化が必要です。

プラグイン→ インストール済みプラグイン



WP Multibyte Patch がありますので有効化をクリックします。



■ RSS に署名やリンクを埋め込める beta-rss_footer

beta-rss_footer は記事投稿時に署名やリンクを自動で埋め込むことができるプラグインです。

このプラグインを有効にしておくことで、Google 検索エンジンには、この記事が自分の作成したオリジナル記事であることを認識してもえる可能性が高くなります。

もし万が一自分のオリジナル記事がコピーされたとしても自分の記事の方が先に投稿している（自分の方がオリジナルである）と Google に評価され有利になります。

こちらは個別にプラグインを入れていただく必要があるのでやり方をご紹介します。

「インポート用ファイル」フォルダの中にある、beta-rss_footer.zip を使います。（解凍はしないでください）

プラグイン → 新規追加



プラグインのアップロード
をクリックします。



ファイルを選択 をクリックします。

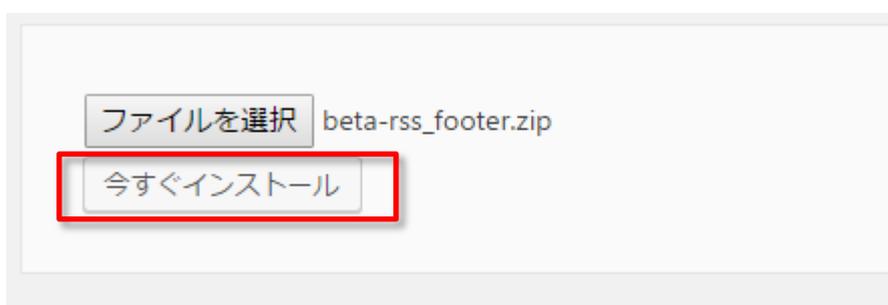


beta-rss_footer.zip をクリックして 開くボタンをクリックします。(アイコンの見た目はお使いのソフトにより異なりますので、見た目が違っていても気にしないでください。)

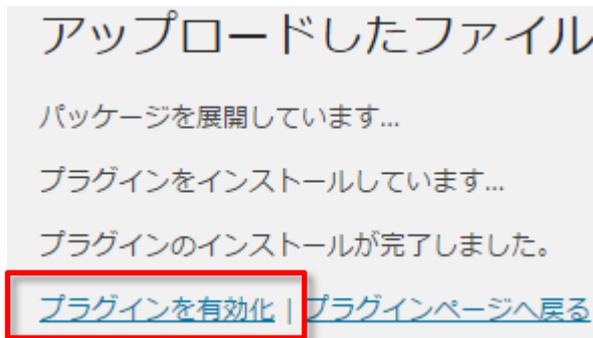


ファイルを選択 というボタンの横に、beta-rss_footer.zip が表示されました。

この状態で、「今すぐインストール」をクリックします。



プラグインを有効化 をクリックします。



■ リンク切れをチェックする Broken Link Checker

今回は楽天アフィリエイトということで、アフィリエイトリンクを貼るケースが多くなります。

ですが、紹介したリンク先が切れていると、せっかくの紹介記事も意味がなくなってしまう。

また、リンク切れのページがあると、Google からは評価を下げられてしまうという説もあります。（Google 自体は、リンク切れによる低評価はないと名言しているようですが、それもどうかかわからないところですので）

何よりも読んでいる方の信頼を下げることに繋がってしまいますので、リンク切れには細心の注意を払っておきたいところです。

記事数が多くなってくると、自分で1記事ごとにチェックするのも大変になってきます。プラグインを有効にしていると、リンク切れが万が一あった場合にメールでお知らせしてくれる機能がありますので、リンク切れの発見が早くなります。

ダッシュボード→プラグイン→新規追加



右側のプラグインの検索という欄に、Broken Link Checker を入力してください。



今すぐインストールをクリックします。



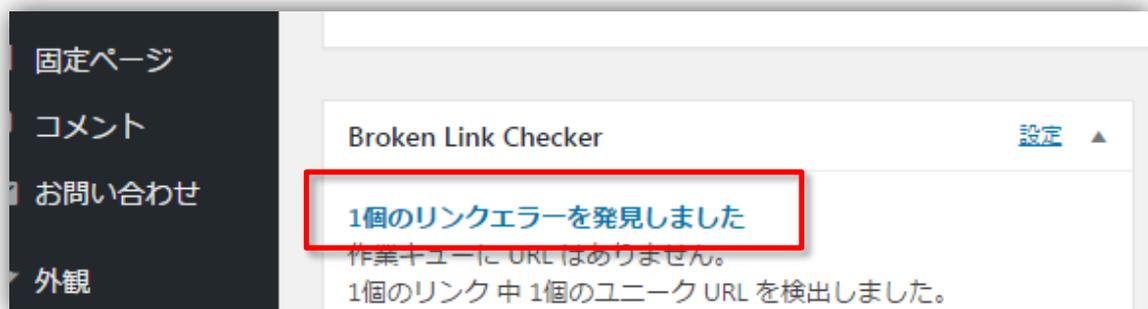
有効化をクリックします。



基本的には有効化していれば OK です。

細かい設定もありますが、色々といじりたい場合はプラグイン名などで Google 検索して調べてみてください。

リンク切れがあった場合には、ワードプレスに最初に設定したメールアドレスに通知メールが来ます。かつダッシュボードにも表示されます。



時々誤検出されることもあるようですので、

表示されたら、リンクエラーになっている内容を1つずつ確認してみましょう。

確認後、

URL を編集、リンク解除、リンクエラーでない、リンク切れから解除等の選択肢がありますので、そちらから適切なものを選んで処理したり、投稿編集画面に直接入って、記事編集を行っていきましょう。

■ 設定したサイズで画像アップロードができる Imsanity

通常サイトに画像をアップロードする時、自分のパソコン内で保存した画像サイズのままアップロードされます。

アップロードする前にリサイズ（サイズ調整）をしておけば、心配ないのですが、もしリサイズをしていない場合ですと、大きい画像サイズのままアップロードされてしまいます。

これを防ぐために普通はリサイズをしてからアップロードをするのですがそんな面倒なこともせずに、大きなサイズのままアップロードをしても自動的に設定した画像サイズにした状態でアップロードしてくれる

というのが、この Imsanity の機能です。

当マニュアルでは、スマホで写真を撮影した際にスマホ内でリサイズする方法もお伝えしておりますし、PC ソフトで一括リサイズする方法もお伝えしております。ですのでそれらの操作を毎度される方にはこちらのプラグインは不要となります。

リサイズ操作をし忘れてしまう、という方などに活用できるプラグインです。

また、このプラグインを有効化しますと、設定した画像以上に大きく拡大して見ることができないというデメリットも存在します。

例えば、場合によっては、画像をクリックすると、拡大画像が見れるように設定したいという人もいると思います。

このプラグインで最初にアップロードされる幅を600とした場合に、

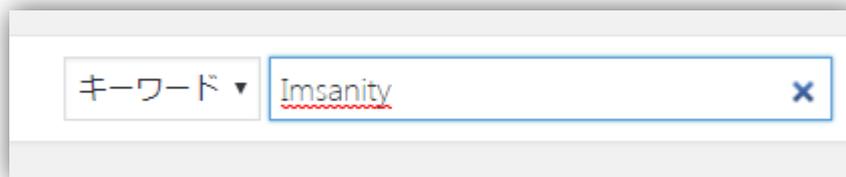
画像をクリックしてもそれ以上のサイズの拡大にはなりませんので
こういったことができないのが不便と感じる方は、こちらのプラグインは入れ
ないようにしましょう。

必要であればインストールしてくださいね。

プラグイン → 新規追加をクリック

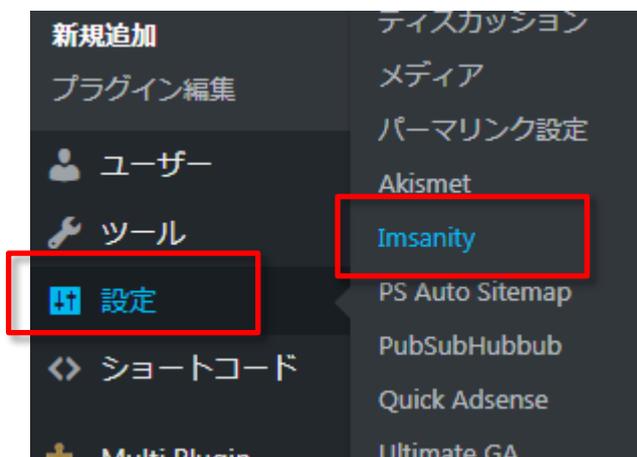


Imsanity と入力して検索し、今すぐインストールをクリックして、有効化しま
す。



次に、アップロードする際の画像幅を設定します。

設定 → Imsanity をクリックします。



お好みにはなりますが、私は以下のように設定しております。

固定ページ / 投稿でアップロードされた画像 : こちらは投稿画面で使う写真のアップロードサイズになります。私は550にしていますが大きくても600くらいが良いと思います。

(大きい画像を入れたい方は、ここの幅を1000などにします)

メディアライブラリへ直接アップロードされた画像 : こちらはメディア欄から入れた画像になりますが、大きいサイズを入れたい場合はこちらからアップロードすることにして(めったに使いませんが)ここで1000としました。

*個人的にはここも550でも良いと思います

その他の方法でアップロードされた画像(テーマヘッダー、背景、ロゴなど)

→ここは幅広い画像を使いたい時もあるので、幅指定はナシで0とします。

(0にすれば指定なしです)

設定ができれば「変更を保存」をクリックします。

Imsanity 設定

固定ページ / 投稿でアップロードされた画像 最大の幅 550 最大の高さ 0 ピクセル単位、0を入力して無効

メディアライブラリへ直接アップロードされた画像 最大の幅 1000 最大の高さ 0 ピクセル単位、0を入力して無効

その他の方法でアップロードされた画像(テーマヘッダー、背景、ロゴなど) 最大の幅 0 最大の高さ 0 ピクセル単位、0を入力して無効

JPG 画像品質 82 有効な値は1~100です。
WordPress デフォルトは 82 です

BMP 形式を JPG 形式へ変換する はい ▾

PNG 形式を JPG 形式へ変換する いいえ ▾

変更を保存

これでカスタマイズ設定の前半が終了いたしました。
引き続き後半にお進みください。